

風の一旬

名句鑑賞

春風や闘志いだきて丘に立つ

高浜 虚子

季節の変わりを告げる風をより強く感じる丘に立ち、決意を新たにしている姿がよく伝わってきます。この時を待っていたのかもしれない作者の思いをいろいろ想像してみましよう。季語は、「春風」で、春の句です。

見えてゐる海まで散歩風薫る

稲畑 汀子

南風が草木を渡って、すがすがしく匂うように吹いてくるようすを表す言葉です。見えている海は、遠いのか、間近なのか。海に着いた作者の心のなかのようすや見えている風景の雄大さが伝わってきます。季語は、「風薫る」で、夏の句です。

台風の去って玄界灘の月

中村吉右衛門

激しい暴風雨を伴う台風が去った後の玄界灘の姿が表現されています。月の姿が、読者にはつきりしたイメージで伝わってきます。季語は、「台風」で秋の句です。

風や海に夕日を吹き落とす

夏目 漱石

風は、冬のはじめに吹く強い風で、木の葉を吹き落としてしまします。海に夕日を落としてしまうような強い風だったのでしょうか。その場にいる作者はどんな姿で、どんな思いなのかをいろいろ想像してみましよう。季語は、「風」で、冬の句です。



季語と季節の不一致について

俳句には、季語という季節を表す言葉を盛り込むことになっています。季語とは、雪は冬、月は秋、花は春のように季節を端的に表す言葉です。

しかし、現在では次のような季語は、季節を限定せずにみられることから、季語と季節は、必ずしも一致しない面がみられます。

サッカー(夏・ナイター(夏)・小鳥来る(秋)・朝顔(秋)・布団(ふとん)(冬)

歳時記について

季語を季節ごとに分け、その解説や例句などをまとめた歳時記というものがあります。季語の字引のようなものです。みなさんも一度見てみましょう。



子どもの俳句から

春

お母さん春風の中そうじする

小学生

縄手 愛加

花ふぶきクラスを一つにつつんでく

小学生

木地亜依良

草原の新芽を揺らす春の風

中学生

速水 良恵

回転いすどこで止めても春の風

中学生

伊藤 隆

網戸から風をもらって勉強する

夏

小学生

山本 克海

ふうりんにかぜがことばをおしえてる

中学生

出口 優樹

鑑賞のポイント

☆お母さんは、どんな姿で、どんなことを話しながらやっているのでしょうか。季語は、「春風」です。

☆クラスのみんなのようすをいろいろ想像してみましよう。季語は、「花ふぶき」です。

☆草原に吹く春風、新しい芽を見つけた作者の思いを考えてみましょう。季語は、「春の風」です。

☆「どこで止めても」が作品のイメージを豊かにしています。季語は、「春の風」です。

☆風をもらってという表現からどんなことを感じますか。季語は、「網戸」です。

☆人間にたとえて表現されています。どんなことを教えているか想像してみましよう。季語は、「ふうりん」です。



秋

コスモスがゆれて笑っているみたい

小学生

伊藤智亜貴

風きって稲穂の海にペダルこぐ

中学生

豊田 裕一

雑

うんていを一だんぬかしでかぜがくる

小学生

岩田 侑己

ガヤガヤと急に森達しやべりだす

小学生

福永今日子

大草原一人の少年風になる

中学生

右京 寛也

鑑賞のポイント

☆笑っているように見えた作者の気持ちを想像してみましよう。季語は、「コスモス」です。

☆広がる稲穂を海にたとえた時のようすや気持ちを想像してみましよう。季語は、「稲穂」です。

☆うんていを一だんぬかししていく風ってどんな風でしょう。友達もいっしょなのか。

☆急にしやべりだす森達。こんなふうに感じたのは、どうしてでしょう。「急に」を大事に考えてみましよう。

☆大草原に一人、そして風との出会い。風になるとは、どんな感じのことでしょう。

創作(風の句を作ってみよう)

○風の印象、思い出など、いろいろ書き出してみましよう。

○風に關係する季語を集めてみましょう。

○風の句を作ってみましょう。

[illegible]